

会議録

会議の名称	令和元年度第2回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和元年10月4日（金）午後2時～午後4時		
開催場所	加東市役所 2階 201会議室		
議長の氏名	（座長 梅野巨利）		
出席及び欠席委員の氏名	出席委員 ・古田 照 代 ・岸 本 吉 晴 ・梅 野 巨 利 ・須 田 康 之 ・遠 藤 久 男 ・小 島 加 津 子 ・井 上 綾 乃 ・植 田 真 由 子 ・宇 都 宮 卓 ・黒 崎 和 子 ・平 川 米 一 ・村 上 加 奈 子 ・山 口 敬 晶 ・山 本 直 樹 欠席委員 ・山 本 洋 介 ・笠 井 郁 男 ・田 尻 信 生		
出席した市の職員の氏名及びその職名	事務局 ・まちづくり政策部長 小林 勝 成 ・まちづくり政策部企画政策課長 下岡 正 裕 ・まちづくり政策部企画政策課副課長 山 本 幸 平 ・まちづくり政策部企画政策課係長 小 林 寿 泰 事務局以外 ・市民協働部長 芹生 泰 博 ・市民協働部市民課長 梶 本 俊 也 ・市民協働部保険医療課長 友藤 由 貴 子 ・市民協働部生活環境課長 眞 海 秀 成 ・市民協働部人権協働課長 土 肥 彰 浩 ・市民協働部市民課副課長 岸 本 万 里 子 ・市民協働部保険医療課副課長 藤 原 敬 子 ・市民協働部生活環境課副課長 藤 原 義 守 ・市民協働部人権協働課副課長 小 坂 淳 子 ほか3人		
1 議題等	第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理（施策評価）について		
2 会議資料	【資料1】令和元年度加東市まちづくり推進市民会議における協議について 【資料2】〔評価シート例〕平成30年度第2次総合計画前期基本計画施策評価シート 【資料3】平成30年度第2次総合計画前期基本計画施策評価シート〔政策Ⅲ〕		
3 会議の経過	⇒別紙「第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり		
令和元年 10 月 4 日	座 長 梅 野 巨 利 副座長 岸 本 吉 晴		

(別紙) 第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
委員 課長 委員 課長 委員 課長 委員 課長 議長	1 開会 2 座長挨拶 3 協議事項 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理(施策評価)について ○資料について事務局から説明(資料1・2) ○政策Ⅲ主要施策12～14の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(12)「廃棄物の減量・リサイクルの推進と処理体制の効率化」 ・生活系ごみと事業系ごみ、また、その収集経路や処理過程がどう違うのかを教えてください。 ・生活系ごみは、それぞれの家庭から持ち出されるごみのことである。事業系ごみは、一般廃棄物なのか産業廃棄物なのかということはあるが、産業廃棄物の処理責任は事業者であることから、ここで言っているのは一般廃棄物のことであり、一般廃棄物のうちの事業系ごみと捉えていただきたい。事業所、工場、事務所、ゴルフ場、ホテル、飲食店、スーパー等の事業活動により出る紙ごみ、従業員の方々が捨てる弁当殻、ゴルフ場やレストランなどでの食残しなどは、事業系ごみということになる。基本は一般廃棄物なので処理先は一緒になるが、加東市の場合は事業系一般廃棄物の収集については、市が許可する許可業者が収集に回っている。家庭から排出されるごみは、地域のごみステーションに搬出されて、それを市が収集している。 ・例えば、事業所などで事務系のごみが出ると思うが、それを一般家庭ごみと一緒に処理されている可能性は否定できない、結構あるということなのか。 ・ごみ減量リサイクル懇談会等で、ごみのことについて説明をしている。また、例えば店舗兼用住宅とかであれば、分別いただかないといけないことになっている。 ・分別しなければいけないということであっても、一般家庭ごみの中に事業系のごみが混ざっている可能性はあると理解をしいのか。 ・混ざっている可能性は否定できないと思っている。そのため、適正処理の啓発を引き続きやっていかなければいけないと思っている。 ・適正にというのは、事業所だから分けないといけないと言っているだけであって、環境の問題を考えると処理は別に問題ないということか。 ・行き先は同じであり、そういうことになる。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(13)「地球環境の保全に向けた取組の推進」 ・協働の取組②かとう環境パートナーシップの推進であるが、皆さんの温度が低いように思う。取組評価が●になっているが、実際には、かなり市の方が一生懸命されており、パートナーシップとしてみんなで盛り上がってやっていこうというものが、少し感じられない。取組評価を見るとすごくできた、次もこの調子でということになりそうであるが、できれば▲にして、もっと頑張ろうという形にした方がよいと思う。 ・協働の取組③環境教育・環境学習の推進について、文科省の学習指導要領の中に持続可能な開発のための教育というものがあるが、何年か前から明記されているが、加東の教育方針みたいなパンフレットには、はっきり書かれていない。ここをもう少し先生方が意識できるように、また、環境パートナーシップの企業や市民団体は、いつでもサポートしたいという意識がすごく高いので、それをうまくどうしていったらいいのかということ、市がサポートしていただけたら、協力して子供たちを育んでいけるかなと思うので、取組としてOKにしないでもう少し厳しく見てもらえたらと思う。

課長	・協働の取組④自然・生活環境や景観の保全のところであるが、近所に太陽光パネルが設置されており、皆さんの知識がそこまでないからだと思うが、できてからこれは大丈夫なのか、色んなニュースとかで聞いたりして心配されているようである。もう少し市民に知識があれば、理解されたと思うが、それに関することが資料に記載してあればいいかなと思う。 ・委員が言われた内容については資料に記載しているが、環境基本計画を令和元年度と来年度の2か年で策定しようと考えており、その中で議論をしていきたいと思っている。環境に対する意識が上がってくると評価は厳しくなり、意識が低いと評価は緩くなるという理屈かなと思っており、行政だけではなくて、市民、事業者、行政、三位一体で、どういう温度でやっていくのかというところが重要であると考えているので、そのあたりの評価は委員にお任せしたいと思う。
議長	・取組結果等を見て市の方では、上を目指せばきりはないけど、平成30年度ではここまでできたからということで取組評価を●としていて、でも委員は、市民目線でいくと少し足りないのではという意識かもしれない。市の方としては、何の根拠もなく評価を付けた訳ではなくて、ある程度の下積みというか、データに基づいて評価すれば●になると判断されている。この会議の意味というのは、市民目線の意見がここで出ることで、今後市の方がそれを踏まえて取り組むということであって、あえてここを▲に落とせということまでは必要ないのではないかと考えるがどうか。
委員	・実際には本当に意識が高くてみんなが行きたいという意見を聞いているというよりも、頑張って何とかして参加人数を確保したというところもかなりあるので、そういうことがあるということをも市の方でも認識いただいて、次のイベントの企画などに活かしていただけたらと思う。
課長	・大会やイベントの開催に当たっては、やはり機運を高めていかないといけないが、そのために何をすべきかということについては、皆さん方と一緒に考えていきたいと思っている。
議長	・ここで私は、委員の意見を無視しているわけではなくて、むしろ、こういう場であるから、市民目線で意見を出すことは非常にいいことだと思う。ただ、市の方では、ある程度根拠に基づいて評価しており、その根拠自体に問題があれば、ここで意見をどんどん出していただくことは必要だと思うが、だからといって、既に計画ができているので、今日それを揺るがすことは難しいところもある。根拠についての異議は、次年度、また、今度策定するときの参考になるということである。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(14)「良好な生活環境等の確保に向けた取組の推進」 ・取組評価が全て●で、改善事項等にもコメントがないので、この時点では総合評価Aと理解してもいいと思うが、Bとした根拠は何かあるのか。
課長	・まちづくり指標のクリーンキャンペーン等参加者数の達成率が91.4%ということになっており、その数字が環境美化の意識を測る一つのバロメーターになることから、目標達成できていないということでB評価としている。 ・数値としては91.4%であるが、実際は地域で実施していただいているので、取組評価を▲ではなく、●としている。
委員	・確かにこの指標は目標値に達成していないので、総合評価Aというのはどうかと思うが、そうすれば、取組評価は▲にして、さきほど言われた内容を改善事項等に盛り込んでいけば、整合性はとれるのではないかと、また、次のステップにつながるのではないかと。取組評価の変更が無理なのであれば、その内容だけでも盛り込むべきかと思うがどうか。
係長	・資料1の説明のときにも少しふれさせていただいたが、総合評価については、まちづくり指標が1つでも100%未満があると、基本的にそれを成果として出すための計画であるという前提から、総合評価をB以下としている。取組評価については、計画に書いている取組が十分できたかどうかという観点で評価したものとなるた

課長	め、その取組に成果が伴っているかどうかという観点とは少し違うところはある。ただ、連動している部分もあるので、評価シートの構成が、ややこしくなっているが、御了承いただきたい。 ・不法投棄の防止地区、モデル地区の申出数が88地区ある。北播磨で見ても、98地区のうち88地区という率で申出をされている市町はない。指標にはあげていないが、そういう地域の意気込みもある。また、どの地区においても2回以上はクリーンキャンペーンを実施していただいている。達成率で見れば91.4%となっているが、事務局が言ったように、やっていることはやっているという状況であり、取組評価を●としている。
委員 議長 委員	・言われていることは分かるが。 ・総合評価をAとしてもいいのではないかとということか。 ・若干の課題等はあるが、おおむね順調なのは先ほどの説明で理解できる。その若干の課題等が書けるなら、また、次のモチベーションのためにA評価があってもいいと思う。それで、次の年度にレベルアップを図っていくというふうにやっていけばいいのではないかと思っただけである。
委員	・実際地域の状況を見ると、不法投棄というほど大きくないが、ポイ捨てみたいなものの苦情がよく入ってくる。そういう意味では、いろんなことをやられているが、やはり若干の課題が残っているという認識はある。個々ではやられているが、まだ完璧にやりきれていないということでB評価にすればどうかと思う。
委員	・まだ非常に細かいところが整ってないということであれば、B評価でも大丈夫かなと思うが、惜しいような気がする。
課長	・クリーンキャンペーン等参加者数の数値は、地域からの報告によるもので、きちりと確認しているつもりであるが、その拾い方については、若干の課題があると考えている。
議長 課長 議長 課長	・この数値のとり方に、自分たちは課題を感じているということなのか。 ・おそらくもっと数は多いであろうと思っている。 ・じゃあ本当は1万4,573を超えているだろうということか。 ・超えていると思っている。届出忘れであるとか、やっていただいているのに報告が出ていないとか、そのあたりの拾い方がある。
委員	・市がAというのはやはりつけにくいと思う。もう少しやらないといけないことがあるのではと言われる可能性もあるし、評価というのは本当に難しいとは思う。
議長 委員	・市民会議でA評価とすることは可能であるがどうか。 ・一次と二次の総合評価に差が出ると、その根拠を提示しないといけないという形になっているのか。
係長	・市民会議においていい評価をいただけたということは受け止めさせていただく。ただ、その逆もちろん、いただける御意見は非常に大事なところだと思うので、できれば教えていただけたらと思う。
議長	・評価についてはどうか。データのとり方に課題があるというだけであって、活動自体、取組に対して何か問題を抱えているということではないが。 ・A評価でいいと思う人は挙手をお願いします。 〔挙手なし〕 ・一次評価と同様に、二次評価もBとする。
委員	○政策Ⅲ主要施策15・16の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(15)「総合窓口サービス等の充実」 ・昨今、加東市は外国人の増加率が県下でもトップクラスとなっており、その対応が追いついているのか危惧するところである。窓口で外国語生活ガイドブック配置等々書いてあるが、それが活用されていないというのを聞いたことがある。ガイドブックは配布されているのかということと、ガイドブックはかなりボリュームがあるので、もっと生活に密着したコンパクトなものが必要ではないのか、また、防災関係のものも必要ではないのかということがあり、そのような対応ができているのか心配しているところである。

課長	・また、ポケトークの利用とあるが、窓口での外国人対応が実際のところはどうなのかということを知りたい。 ・まず、外国語生活ガイドブックについては、現在複数の言語で翻訳していただいたものを窓口で常備し、転入等でお越しになられた外国人の方にお渡ししている。 ・次にポケトークであるが、活用機会は火曜日の窓口延長の際が非常に多く、1回の窓口延長で3回程度は使っている状況である。ただ、1台しかないのも、使用中は自力での対応となるが、非常に重宝している。また、ほかの課から貸してほしいという依頼もあり、1台では足りないのかなという状況である。
委員	・日本語教室をやっているのも、そういった案内も窓口でお願いしたい。
課長	・日本語教室の案内についても、並行してやらせていただいている。
委員	・マイナンバーカードの普及推進について、休日申請窓口の開設やイベント等への出張サービスを行っているということであるが、費用対効果や効率化という面ではどうなのか。
課長	・休日窓口を毎月1回、第4日曜日に設けており、昨年度、平成29年度に比べると、申請者の数は少し落ちついてきた感がある。国では、令和3年度中にマイナンバーカードと健康保険証を一体化させるという方針で進んでいることから、それに関係して申請が今後ますます増えてくるのではないかと考えている。
議長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もAとする。
委員	◆主要施策(16)「医療保険制度等の充実と適正運用」 ・取組評価が●となっており、順調に取り組めたということであるが、まちづくり指標の目標値の達成率が100パーセント未満のものがある。取り組んだが結果は出ていないということは理解できるが、結果も含めての取組状況ではないかと思う。最終的に総合評価との整合はとれるのか。
課長	・先ほども説明をさせていただいたが、一次評価では、まちづくり指標の年度別目標値の達成ができていないものがあれば、総合評価をBとしている。取組評価については順調に取り組めたということであれば●にしており、そういったところで取組評価と総合評価がつながっていない部分がある。
委員	・説明はわかるが、取組評価は結果を含めてという方が、我々にとって理解しやすいのではないかと思う。
課長	・来年度においても評価シートを作成するので、御意見を参考に検討させていただく。
座長	・私たちが見て、わかりやすい方がいいのではないか。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	○政策Ⅲ主要施策1.7～1.9の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(17)「協働のまちづくりによる地域の活性化」
課長	・輝く加東まちづくりコンソーシアムであるが、なぜ兵庫教育大学との連携強化に取り組む必要があるのか、また、どういったことを連携強化していくのか。 ・兵庫教育大学については、市と協定を結んだ後、いろいろな分野で連携し、事業等を行っている。ただ、このコンソーシアムによる事業は、現在発表の場だけであることから、今後そのコンソーシアムを主体として、より連携を深めていくにはどうしたらいいのかということがあり、今年度6月に兵庫教育大学を訪問し、設立の目的であるとか目指すべき方向性について意見交換などを始めている状況である。また、具体的な取組についても、今調整をしているところである。
委員	・輝く加東まちづくりコンソーシアムについて、少し思っていたことがあったが、これはB i oでされている団体なのか。
部長	・今加東市の中で組織されているコンソーシアムは2つある。1つが今言われたま

委員	ちの拠点づくりコンソーシアムで、B i o 周辺のにぎわいづくり・活性化に取り組んでいる団体である。もう1つは、地域とどのように協働していくかということ兵庫県教育大学と主に話をしながら取組を進めている輝く加東まちづくりコンソーシアムという組織である。この団体には、農協などいろいろな組織が参画しており、それぞれの強みを生かしながら、取組を進めている。 ・コンソーシアムが2つあって、その1つに兵庫県教育大学も加わっているという理解で良いか。また、どのような経緯でできたものなのか。
部長	・市と大学が連携協定を結んでおり、その中でどういった連携協力ができるのかというところから生まれたのが輝く加東まちづくりコンソーシアムであり、これまでにフォーラムなどを開催している。
委員 課長	・既にいくつかの実績があるが、今年度はまだ発表会しかないということか。 ・取組状況としては、まず設立の記念フォーラムを平成23年12月に行っている。続いて、「こんな加東市に住んでみたいな」をテーマとした学生フェスタを平成24年11月に、平成26年2月には地域公共交通フォーラムを開催している。また、平成27年には公共施設の適正化フォーラム、平成28年から市民活動発表会を毎年3月に開催している。
委員	・協働の取組①協働のまちづくりへの取組のところで、まちづくり協議会のあり方について協議するなど、組織強化に向けた取組が推進できたと書いてあるが、具体的にどんなことをされて、組織強化の取組がどのように進んでいるのか教えていただきたい。
係長	・加東市内には小学校区単位、中学校区単位でのまちづくり協議会が7団体ある。そのうち三草ふれあいひろばに関しては、昨年度から、外部からのアドバイザーを導入され、地域の課題解決に向けた取組をスタートされている。一部でそういう地域が出てきているということで、取組の推進ができたと記載している。
委員	・部分的にそういう取組があったということで、それによって組織がどう強化されたという評価になるのか、コンパクトで結構なので教えていただきたい。
係長	・昨年度は外部からのアドバイザーを入れられて協議をされており、今年度は地域計画の策定に向けて、本格的に取り組んでおられる。計画書として実績が出てくれば、そういう評価をすることは可能であると考えている。
議長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
議長	◆主要施策(18)「人権施策の総合的推進」 ※質疑応答等なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(19)「男女共同参画社会の推進」 ・協働の取組③ハラスメントや虐待等の防止対策の推進のところで、中学生対象の講演会や街頭啓発活動により意識啓発が図れたとあるが、学校で講演会を開催したということなのか。それとも、どこか違う場所での開催なのか。
副課長	・各学校に外部から講師をお迎えして、生徒を対象に授業をそれぞれ行った。講師は、女性の支援であるとか子供の問題の対策に取り組まれている、神戸に事務所があるウィメンズネット・こうべに依頼した。
委員	・ハラスメントや虐待についての講演会は、全国的にどんどん中学校でもやっており、非常に注目されている取組なので、機会を増やしていくというような形で進めていただければいいと思う。
委員	・協働の取組①と②について、取組評価は▲、●ということであるが、その根拠が見にくい。①②共通のまちづくり指標があるが、目標値もなければ実績値もない。これはどういうことなのか。
副課長	・いずれも5年ごとに実施している男女共同参画に関する市民意識調査の結果を指標としている。前回実施が平成29年度で、基準値にその結果を記載している。次に実

委員	施するのが2022（R4）年度となることから、中間年に関しては実績値も目標値もないということである。男女共同参画の事業を実施していく中で、5年後の意識はどのようになっているのかを指標にしている。
副課長	・ 協働の取組②の取組評価が●であるが、相談会やセミナー等により男女共同参画の意識啓発が図れたというのは、どういうところからわかったのか。 ・ 男女共同参画セミナーや講演会は、小規模なものが多いが、年間10回程度、女性活躍であるとか男女共同参画の意識啓発として実施している。その中で、アンケートがとれるものについては、その都度、参加者に対してアンケートをとっており、満足度を測っているという状況である。主要施策を構成する主な事務事業の中にも記載しているが、アンケートの可能な事業において、71%の方から「大変満足」との回答があり、「やや満足」を合わせると、98.6%となっていることから、取組評価を●とした。
委員	・ 今からまちづくり指標に何か盛り込むということは難しいかもしれないが、データ収集が可能であるものについては、ここに記載する方がわかりやすいかなと思う。
議長	・ 数値的な成果を記載すれば、説得力があるので、もっとアピールしていいのではないかなと思う。 ・ 一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・ 二次評価もBとする。 4 その他 (1) 今後の会議開催日程について ○事務局から説明 (2) その他 5 閉会